

# FFTA10A

## CCD タッチスキャナ

# 取扱説明書

1.9 版



# 目次

接続手順	2
設定手順	6
設定を中止するには	6
初期設定	7
インタフェースの選択	7
スキャンモードの設定	8
ブザー設定	11
キーボード接続の各種設定 (USB および PS/2 共通)	
1. Caps Lock の設定	12
2. 大文字固定	12
3. 文字送信 (キーストローク) 速度	12
RS-232 接続の各種設定	
1. ボーレート	13
2. データビット	13
3. パリティ	14
4. ハンドシェイク	14
5. ACK/NAK タイムアウトの設定	15
6. ACK/NAK の詳細設定	16
付加文字列の設定	
プリフィックス/サフィックスの設定	17
データキャリア識別子 (コード ID) の設定	
1. JIS X0530 形式	18
2. カスタム設定	18
ターミネータの設定	20
読み取りバーコードシンボル体系の設定	
すべてのバーコードシンボル体系の読み取りを許可する	21
すべてのバーコードシンボル体系の読み取りを禁止する	21
CODE39	22
Interleaved 2 of 5 (ITF)	24
Industrial 2 of 5	25
MATRIX 2 of 5	26
CODE128	27
CODABAR / NW7	28
EAN-13 / JAN-13	31
EAN-8 / JAN-8	31
UPC-A	32
UPC-E	32
UPC / EAN 変換	33
UPC / EAN アドオン	34
CODE93	35
保守メニュー	
ファームウェアのバージョン確認	36
主な仕様	
FFTA10ARS RS232 ケーブル ピン配列表	39
16 進設定バーコード	40
ASCII キャラクタ配列表 (00hex~7Fhex)	41
特殊キー配列表 (81hex~B0hex)	42

# 接続手順

## 1. キーボードインタフェース(FFTA10AKB)の接続手順

- 1) スキャナのケーブルが、PCに正しく接続できるか確認します。
- 2) PCの電源を切ります。
- 3) キーボードをPCから取り外します。
- 4) キーボードをスキャナのケーブルの分岐している部分に取り付けます。
- 5) スキャナのケーブルをPCに接続します。
- 6) PCの電源を入れます。
- 7) スキャナのブザーが鳴れば、準備完了です。「インタフェースの選択」でデスクトップ接続またはノートブック接続に設定してご使用ください。

## 2. RS-232 インタフェース(FFTA10ARS)の接続手順

- 1) スキャナのケーブルが、使用する機器の RS-232 ポートに正しく接続できるか確認します。
- 2) スキャナに電源が供給されているか確認してください。
- 3) ケーブルを機器の RS-232 コネクタに接続します。
- 4) スキャナのブザーが鳴れば、準備完了です。「インタフェースの選択」で RS-232 接続に設定してご使用ください。

## 3. USB インタフェース(FFTA10AUSB)の接続手順

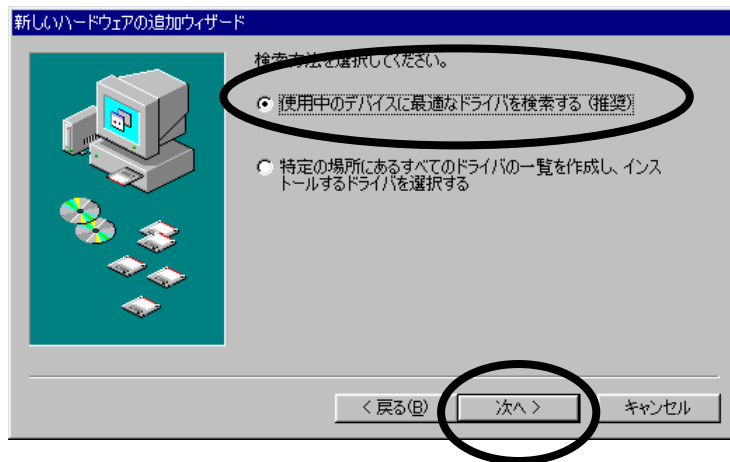
### 1) ドライバのインストール

FFTA10AUSB を初めて PC に接続する際、「USB ヒューマン インターフェイス デバイス」ドライバのインストールが必要になります。ここでは、Windows98SE での画面を用いて、インストール手順を説明します。他の OS でも、ダイアログ表示が多少異なりますが、ほぼ同じ手順です。OS によっては、自動でインストールが進む場合もあります。

- a) PC に電源を投入し、Windows を起動します。
- b) スキャナの USB コネクタを、PC の USB ポートに接続します。  
※USB ハブは使用せず、スキャナを直接 PC に接続してください。USB ハブを使用した場合、スキャナの動作が不安定になったり、動作しなかったりする場合があります。弊社では、USB ハブの使用はサポート外とさせて頂いておりますのでご了承ください。
- c) スキャナのブザーが鳴り、PC のディスプレイ画面に「新しいハードウェア」のダイアログが数秒間表示された後、「新しいハードウェアの追加ウィザード」のダイアログが表示されます。
- d) 「次へ」ボタンをクリックします。



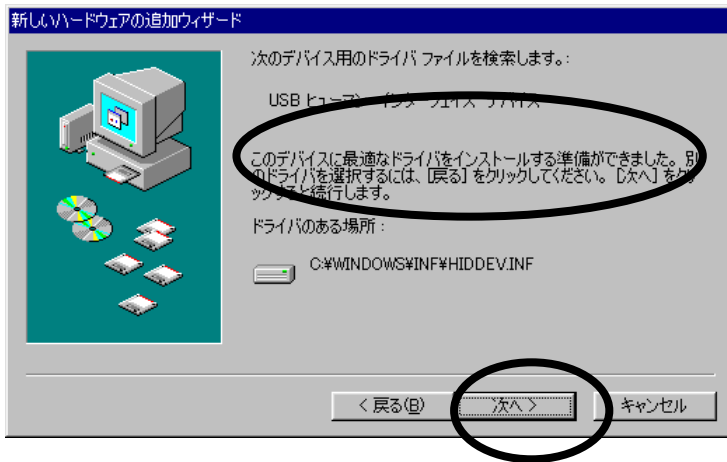
e) 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。



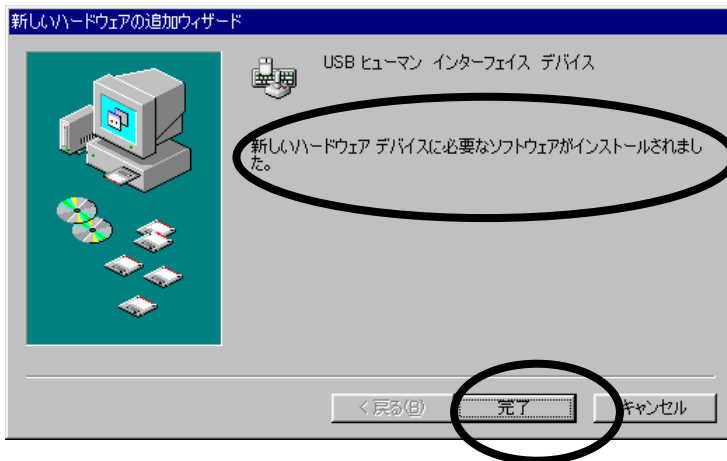
f) チェックマークは付けずに、「次へ」ボタンをクリックします。



g)「このデバイスに最適なドライバをインストールする準備ができました。」と表示されたら、「次へ」ボタンをクリックします。



h)「新しいハードウェアデバイスに必要なソフトウェアがインストールされました。」と表示されたら、「完了」ボタンをクリックします。これでインストールは完了です。

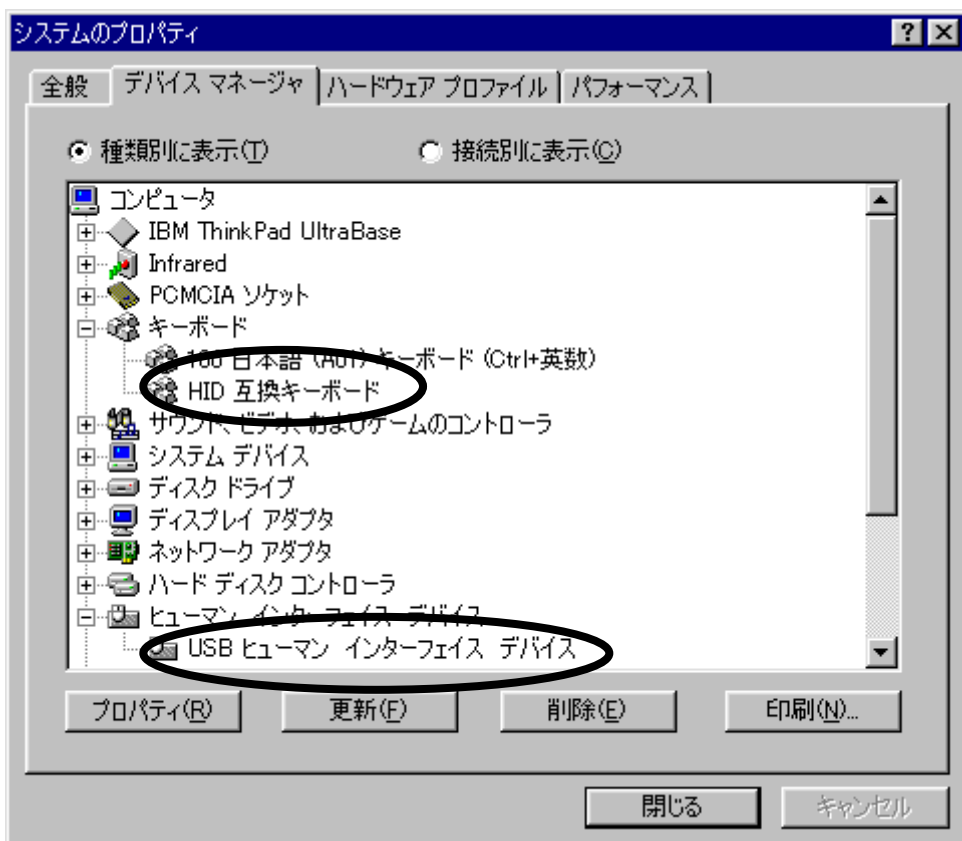


なお、このインストール手順の c ~ h は、2回繰り返される場合があります。

i) 「デバイス マネージャ」に、次のように表示されているか確認します。

- ・「キーボード」に「HID 互換キーボード」(または同様の表示)
- ・「ヒューマン インターフェイス デバイス」に「USB ヒューマン インターフェイス デバイス」(または同様の表示)

※これらの表示は、スキャナを接続している間だけ表示されます。



2) ドライバのインストールが完了すれば準備完了です。

「インタフェースの選択」で USB 接続に設定してご使用ください。

※「デバイス マネージャ」で上記 i の項目が表示されているにもかかわらずスキャナが動作しない、または動作はするが読み取ったデータが表示されない場合は、スキャナのケーブルを PC から一旦抜いて、再度差し込んでください。

## 設定手順

- 1) 変更したいパラメータが記載されているページを開きます。
- 2) ページ左上の「開始」バーコードを読み取ります。  
ビープ音が鳴り、設定の準備ができたことを知らせます。
- 3) 変更したいパラメータのバーコードを読み取ります。  
ビープ音が鳴り、設定バーコードを読み取ったことを知らせます。
- 4) ページ右上の「終了」バーコードを読み取ります。  
ビープ音が鳴り、設定が終了したことを知らせます。
- 5) 複数のパラメータを変更する場合は、同様に繰り返してください。

### ◆備考

設定内容がわからなくなってしまう場合は、一度初期設定に戻してから、必要に応じてパラメータを変更してください。

### ◆設定例

◇Interleaved 2 of 5(ITF)の読み取りを許可する場合:

- 1) 12ページを開きます。
- 2) ページ左上の「開始」バーコードを読み取ります。
- 3) 「読み取り許可」バーコードを読み取ります。
- 4) ページ右上の「終了」バーコードを読み取ります。

## 設定を中止するには

※この項の設定では、「開始」「終了」バーコードの読み取りは必要ありません。  
目的のメニューバーコードを直接読み取りしてください。



設定中止

設定を途中で終了する場合に読み取ります。



強制リセット

設定中にLEDが点灯するが、バーコードを読み取らない状態になってしまったときは、この設定バーコードを読み取ってください。

## 初期設定

設定を初期設定(工場出荷時の状態:このマニュアルの\*印がついている設定)に戻します。



初期設定

※出荷時に『初期設定』および『インタフェースの選択』を  
ありますので、通常はそのままお使い頂けます。  
※『初期設定』を行なった際は、必ず、次項『インタフェースの  
選択』も行なってください。

## インタフェースの選択

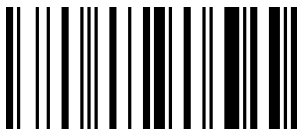


開始

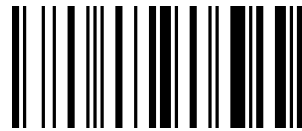
FFTA10AUSB (USB 接続)

FFTA10AKB (PS/2 接続)

FFTA10ARS (シリアル接続)

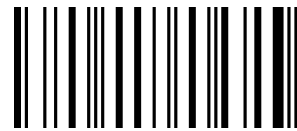


USB 接続



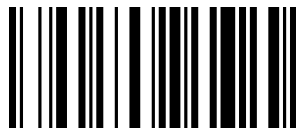
PS/2 デスクトップ接続

外部キーボード、テンキーを利用する場合



PS/2 ノートブック接続

外部キーボード、テンキーを利用しない場合



日本語キーボード

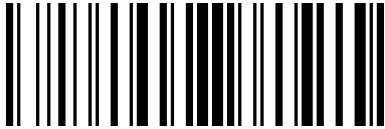


RS232 接続



終了





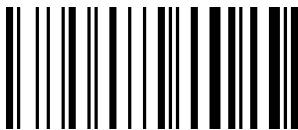
開始

## スキャンモードの設定

※この項目の設定では、「終了」バーコードを読み取りする必要はありません。

「開始」バーコードに続いて目的のメニューバーコードを読み取りすれば設定完了となります。

※スキャンモードの変更は、設定完了後にトリガーを押すと有効になります。



トリガーon/off

トリガーを押している間、LED が点灯し、読み取りを行ないます。  
トリガーを離すとLED が消灯します。



\* トリガーon/読み取り成功 off

トリガーを押すとLED が点灯し、読み取りを行ないます。  
読み取りに成功するとLED が消灯します。  
(トリガーを押してすぐ離した場合でも、3 秒間はLED が点灯して読み取りを行ないます。)



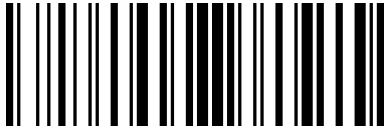
連続 on/トリガーoff

トリガーを押すとLED が点灯したままになり、連続読み取りが可能になります。  
もう一度トリガーを押すと、LED が消灯します。



連続 on/常時点灯

LED が常時点灯します。連続読み取りが可能です。  
(設定完了後、一度トリガーを押すと常時点灯になります。)



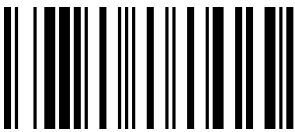
開始

## スキャンモードの設定(2)

※この項目の設定では、「終了」バーコードを読み取りする必要はありません。

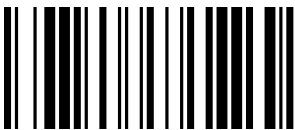
「開始」バーコードに続いて目的のメニューバーコードを読み取りすれば設定完了となります。

※スキャンモードの変更は、設定完了後にトリガーを押すと有効になります。



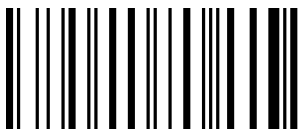
トリガーon/連続読み取り/  
再トリガーまたは30秒off

トリガーを押すとLEDが点灯し、読み取りを行いません。  
読み取りに成功してもLEDは消灯せず、連続で読み取りが可能です。もう一度トリガーを押すか、30秒間何も読み取らなかった場合、LEDは消灯します。  
(トリガーを押してすぐ離した場合でも、30秒間はLEDが点灯して読み取りを行いません。)



トリガーon/連続読み取り/  
再トリガーまたは120秒off

トリガーを押すとLEDが点灯し、読み取りを行いません。  
読み取りに成功してもLEDは消灯せず、連続で読み取りが可能です。もう一度トリガーを押すか、120秒間何も読み取らなかった場合、LEDは消灯します。  
(トリガーを押してすぐ離した場合でも、120秒間はLEDが点灯して読み取りを行いません。)



点滅モード

トリガーを押すとLEDが点灯したままになり、連続読み取りが可能になります。60秒間何も読み取らなかった場合、LEDは点滅モードに移行します。点滅中もバーコードの読み取りは可能です。一度読み取りに成功すると、点灯モードに復帰します。点灯または点滅中にトリガーを押すと、LEDが消灯します。



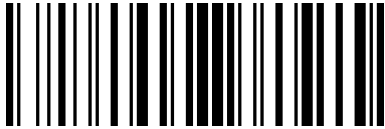
点滅間隔の設定

『点滅モード』の際の点滅間隔を設定できます。

点灯時間および消灯時間をそれぞれ16進2桁で指定します。設定可能範囲は、0.3秒(03h)～25.5秒(FFh)です。

例) 点灯:1秒(0Ah) / 消灯:0.6秒(06h) にする場合…

『開始』→『点滅間隔の設定』→『0』→『A』→『0』→『6』



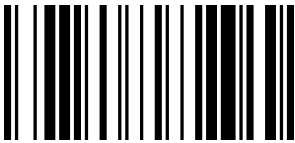
開始

## スキャンモードの設定(3)

※この項目の設定では、「終了」バーコードを読み取りする必要はありません。

「開始」バーコードに続いて目的のメニューバーコードを読み取りすれば設定完了となります。

※スキャンモードの変更は、設定完了後にトリガーを押すと有効になります。



連続読み取り/省電力モード

電源ONでLEDが高速点滅(点灯:0.2ミリ秒/消灯:2ミリ秒)でスキャンを開始します。スキャンした波形の中にバーコードらしき波形があると、通常の連続点灯に移行し読み取りを行いません。読み取り成功後、一定時間は常時点灯して連続で読み取りを行いません。また、トリガーを押している間は連続点灯し、連続読み取りが可能です。

このモードでは、『読み取り成功後に高速点滅へ復帰する時間』を16進2桁で指定します。

設定可能範囲は、3秒(03h)～255秒(FFh)です。

初期設定値は3秒(03h)です。

例) 高速点滅への復帰時間を3秒(03h)にする場合…

『開始』→『連続読み取り/省電力モード』→『0』→『3』

※ 3秒未満の値(00h～02h)を設定しても無視され、『3秒』に設定されます。

※ バーコードらしき波形をスキャンして連続点灯に移行した場合でも、3秒間バーコードの読み取りに成功しなかった(読み取れなかった)場合は、一旦高速点滅モードへ復帰します。

(バーコードらしき波形をスキャンし続けている場合は、すぐに連続点灯へ再移行します)



開始



終了

## ブザー設定

### 1. ブザー音程



\* 高



中



低



無音

### 2. ブザー音長



\* 長



短

### 3. 準備完了ブザーのオン／オフ切替

準備完了ブザー(電源投入時および設定完了時のピー音)を鳴らすかどうかを設定できます。

※この項目の設定では、「終了」バーコードを読み取りする必要はありません。

「開始」バーコードに続いて「準備完了ブザーのオン／オフ切替」のメニューバーコードを読み取りすれば設定完了となります。

※設定する毎に、オンとオフとが切り替わります。



準備完了ブザーのオン／オフ切替



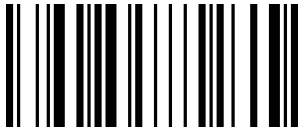
開始



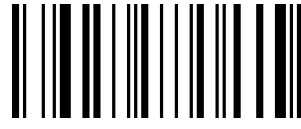
終了

## キーボード接続の各種設定(USB および PS/2 共通)

### 1. Caps Lock の設定



Caps Lock ON



\* Caps Lock OFF

※ON にすると、バーコードデータのアルファベットの大文字を小文字に、小文字を大文字に変換します。  
PCの Caps Lock が ON になっていて、データの大文字と小文字が逆になってしまう場合に有効です。

### 2. 大文字固定



Upper Caps Lock ON



\* Upper Caps Lock OFF

※ON にすると、バーコードデータのアルファベットをすべて大文字に変換します。  
PCの Caps Lock の状態に左右されません。

※この項目を ON にすると、一部の表計算ソフトやワープロソフトでは、正しく入力できない場合があります。

### 3. 文字送信(キーストローク)速度



\* 最速



速

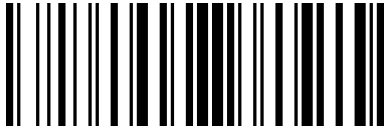


中



遅

スキャナからのキーボード入力信号を PC 側が受けきれない場合は、送信速度を遅くします。



開始

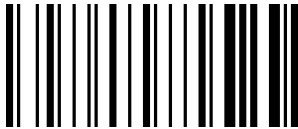


終了

---

## RS-232 接続の各種設定

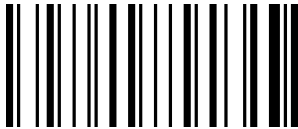
### 1. ボーレート



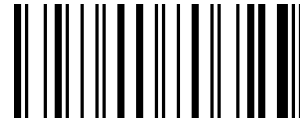
1200



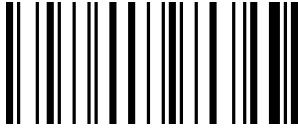
2400



4800



\* 9600



19200

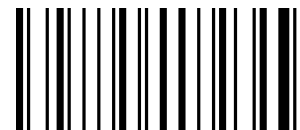


38400

### 2. データビット



7ビット



\* 8ビット



開始



終了

---

## RS-232 接続の各種設定(続き)

### 3. パリティ



奇数(Odd)

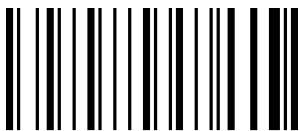


偶数(Even)

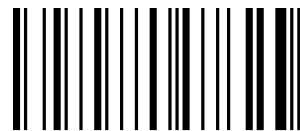


\* なし(None)

### 4. ハンドシェイク



ハードウェア(RTS/CTS)



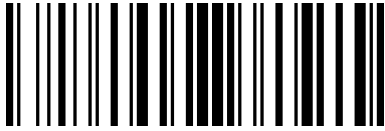
ソフトウェア(Xon/Xoff)



\* なし(無手順)



ハードウェア(RTS/CTS)  
+ ACK/NAK プロトコル



開始

---

## RS-232 接続の各種設定(続き)

### 5. ACK/NAK タイムアウトの設定

ACK/NAK の応答受信待機時間を設定します。

0.1 秒単位で、00hex(0.1 秒)から FFhex(25.6 秒)の間で設定できます。

初期設定値は 14hex(2.1 秒)です。

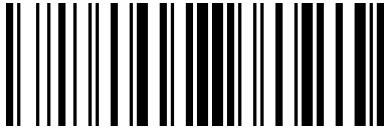
※この項目の設定では、「終了」バーコードを読み取りする必要はありません。

「開始」、「ACK/NAK タイムアウトの設定」バーコードに続いて、設定したい値の hex コード(2 桁)を巻末の「16 進設定バーコード」で読み取りすれば設定完了になります。



ACK/NAK タイムアウトの設定





開始

## RS-232 接続の各種設定(続き)

### 6. ACK/NAK の詳細設定

＜NAK 受信時のデータ再送回数の設定＞

＜タイムアウト時のビープ音鳴動回数の設定＞

この項目では、「NAK 受信時のデータ再送回数」と「タイムアウト時のビープ音鳴動回数」を設定します。

「NAK 受信時のデータ再送回数」は、1から7の範囲で設定可能です。初期設定値は「3回」です。

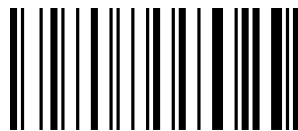
「タイムアウト時のビープ音鳴動回数」は、2から7の範囲で設定可能です。初期設定値は「5回」です。

※この項目の設定では、「終了」バーコードを読み取りする必要はありません。

「開始」、「ACK/NAK の詳細設定」バーコードに続いて、NAK 受信時のデータ再送回数 1桁(1～7)、タイムアウト時のビープ音の鳴動回数 1桁(2～7)を巻末の「16進設定バーコード」で読み取りすれば設定完了になります。

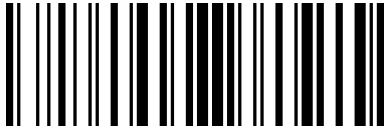
例) 「NAK 受信時のデータ再送回数」を「5回」に、「タイムアウト時のビープ音鳴動回数」を「4回」に設定する場合:

「開始」→「ACK/NAK の詳細設定」→「5」→「4」(自動的に設定完了)



ACK/NAK の詳細設定

※この項目では、「NAK 受信時のデータ再送回数」と「タイムアウト時のビープ音鳴動回数」とを同時に設定します。個別に設定することはできません。



開始

## 付加文字列の設定

バーコードデータの前後に任意の文字列を付加することができます。

プリフィックス(データ前付加文字列)、サフィックス(データ後付加文字列)およびターミネータ(終端文字)を設定できます。

データに対するそれぞれの付加位置は次の通りです。

[プリフィックス:0~12文字][コード ID(0~3 文字)][データ:1~64文字][サフィックス:0~12 文字][ターミネータ:0または1文字]

## プリフィックス／サフィックスの設定

データの前後に各最大12文字、任意の文字列を付加することができます。

※この項目の設定では、「終了」バーコードを読み取りする必要はありません。

「開始」、「プリフィックスの設定」または「サフィックスの設定」バーコードに続いて、付加したい文字の hex コード(2桁)を12文字分、巻末の「16進設定バーコード」で読み取りすれば設定完了になります。

11文字以下に設定する場合は、必要分の hex コードを読み取った時点で「16進設定バーコード」の「決定」バーコードを読み取りすれば設定完了になります。

※プリフィックス／サフィックスの設定を解除するには、「FFhex」に設定します。

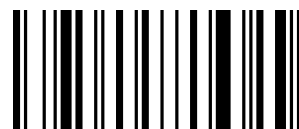
※FFTA10ARS で設定可能な文字は、ASCII キャラクタ(00hex~7Fhex)です。

※FFTA10AKB／FFTA10AUSB では、ASCII キャラクタ(00hex~7Fhex)に加えて、特殊キーを81hex~B0hex で設定可能です。

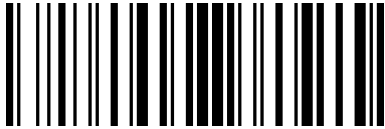
※各文字の hex コードは、巻末の「ASCII キャラクタ配列表」および「特殊キー配列表」をご参照ください。



プリフィックスの設定



サフィックスの設定



開始



終了

## データキャリア識別子(コード ID)の設定

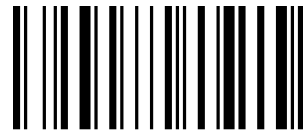
データの前にデータキャリア識別子(コード ID)を付加することができます。

JIS X0530 形式(3 文字)または任意のキャラクタ(1 文字または 2 文字)を設定することができます。

### 1. JIS X0530 形式



付加する



\* 付加しない

JIS X0530 形式のアプリケーション識別子を付加します。

※ 「JIS X0530 形式」を「付加する」に設定すると、次項「カスタム設定」の設定は無視され、JIS X0530 形式のアプリケーション識別子が付加されます。

### 2. カスタム設定

コード IDとして、任意のキャラクタを 1 文字または 2 文字設定することができます。

※この設定は、前項「JIS X0530 形式」を「付加しない」に設定しているときのみ有効になります。

※カスタム設定を行った後で「JIS X0530 形式」を「付加する」に設定すると、カスタム設定は無視されますが、設定した内容は保持されています。そのため、「JIS X0530 形式」の設定を「付加しない」にすれば、この項で設定したカスタムコード ID が付加されます。

※この項目の設定では、「終了」バーコードを読み取りする必要はありません。

「開始」、「コード種別選択」バーコードに続いて、付加したい文字の hex コード(2桁)を2文字分、巻末の「16進設定バーコード」で読み取りすれば設定完了になります。

1文字に設定する場合は、設定したい文字の hex コード(2桁)を読み取った時点で「16進設定バーコード」の「決定」バーコードを読み取りすれば設定完了になります。

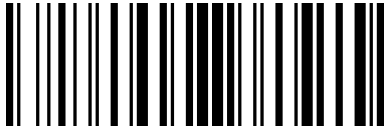
※カスタム設定を解除するには、「FFhex」に設定します。

※複数のコードにカスタムコード ID を設定したい場合は、コード種別ごとに設定します。

※FFTA10ARS で設定可能な文字は、ASCII キャラクタ(00hex~7Fhex)です。

※FFTA10AKB/FFTA10AUSB では、ASCII キャラクタ(00hex~7Fhex)に加えて、特殊キーを 81hex~B0hex で設定可能です。

※各文字の hex コードは、巻末の「ASCII キャラクタ配列表」および「特殊キー配列表」をご参照ください。

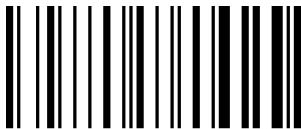


開始

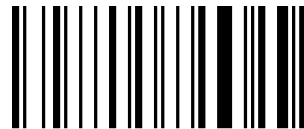
---

## データキャリア識別子(コード ID)の設定(続き)

### 2. カスタム設定:コード種別選択



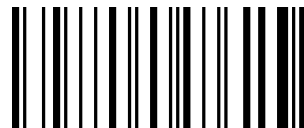
CODE39



Interleaved 2 of 5



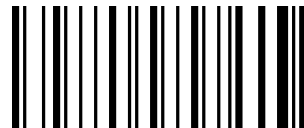
Industrial 2 of 5



MATRIX 2 of 5



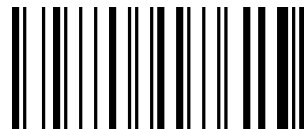
CODE 128



CODABAR / NW7



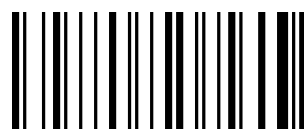
EAN-13 / JAN-13



EAN-8 / JAN-8



UPC-A



UPC-E

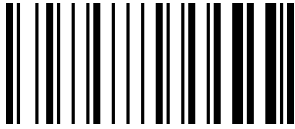


開始



終了

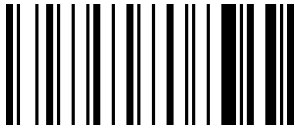
## ターミネータの設定



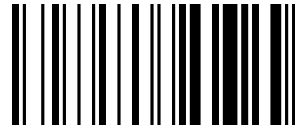
None (付加しない)



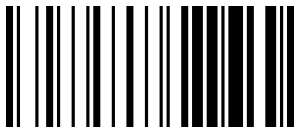
\* CR



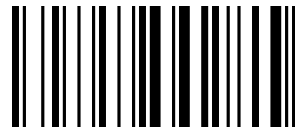
Space



Tab



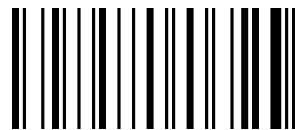
Esc



Ctrl + C



LF (RS232 のみ)



CR/LF (RS232 のみ)



開始



終了

---

## 読み取りバーコードシンボル体系の設定

1. すべてのバーコードシンボル体系の読み取りを許可する



すべて許可

※読み取りたいバーコードのシンボル体系が判らないときは、上記「すべて許可」設定バーコードを読み取り、すべてのバーコードシンボル体系の読み取りを許可にします。

2. すべてのバーコードシンボル体系の読み取りを禁止する



すべて禁止

※読み取りたいバーコードのシンボル体系が判っていて、想定外のバーコードを誤って読み取るのを避けたい場合は、上記「すべて禁止」設定バーコードを読み取ってから、次ページ以降のメニューで、読み取りたいバーコードのシンボル体系を個別に読み取り許可に設定します。



開始



終了

## CODE39

### 1. 読み取り許可



\* 読み取り許可



読み取り禁止

### 2. ASCII 変換



Full ASCII 変換する



\* Full ASCII 変換しない

### 3. スタート/ストップキャラクタ送信



送信する



\* 送信しない

### 4. チェックキャラクタ照合



照合する



\* 照合しない



開始



終了

## CODE39(続き)

### 5. チェックキャラクタ送信



\* 送信する



送信しない

※「送信しない」は、「4. チェックキャラクタ照合」で「照合する」に設定した場合のみ有効になります。  
 チェックキャラクタを「照合しない」に設定している場合は、最終桁までデータキャラクタとして扱われるため、この項の設定にかかわらず最終桁も送信されます。

### 6. 読取り桁数範囲の指定



CODE39 桁数範囲の指定

読取り桁数を 1～23 桁の範囲で指定することができます。

※この項目の設定では、「終了」バーコードを読み取りする必要はありません。

「開始」、「桁数範囲の指定」バーコードに続いて、最小桁数の hex コード(2桁)および最大桁数の hex コード(2桁)を、巻末の「16進設定バーコード」で読み取りすれば設定完了になります。

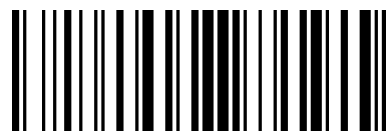
例) 読取り桁数範囲を 10 桁(0Ahex)から 13 桁(0Dhex)に設定する場合:

「開始」→「CODE39 桁数範囲の指定」→「0」→「A」→「0」→「D」





開始



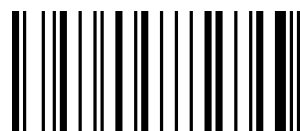
終了

## Interleaved 2 of 5 (ITF)

### 1. 読み取り許可



読み取り許可



\* 読み取り禁止

### 2. チェックキャラクタ照合



照合する



\* 照合しない

### 3. チェックキャラクタ送信



\* 送信する



送信しない

※「送信しない」は、「2. チェックキャラクタ照合」で「照合する」に設定した場合のみ有効になります。  
チェックキャラクタを「照合しない」に設定している場合は、最終桁までデータキャラクタとして扱われるため、この項の設定にかかわらず最終桁も送信されます。

### 4. 読取り桁数範囲の指定



ITF 桁数範囲の指定

読取り桁数を 2～46 桁の範囲で指定することができます。

※この項目の設定では、「終了」バーコードを読み取りする必要はありません。

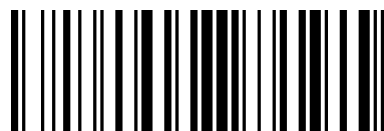
「開始」、「桁数範囲の指定」バーコードに続いて、最小桁数の hex コード (2桁) および最大桁数の hex コード (2桁) を、巻末の「16進設定バーコード」で読み取りすれば設定完了になります。

例) 読取り桁数範囲を 10 桁 (0Ahex) から 14 桁 (0Ehex) に設定する場合:

「開始」→「ITF 桁数範囲の指定」→「0」→「A」→「0」→「E」



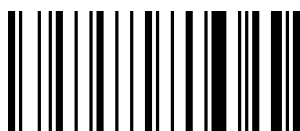
開始



終了

## Industrial 2 of 5

### 1. 読み取り許可



読み取り許可



\* 読み取り禁止

### 2. チェックキャラクタ照合



照合する



\* 照合しない

### 3. チェックキャラクタ送信



\* 送信する



送信しない

※「送信しない」は、「2. チェックキャラクタ照合」で「照合する」に設定した場合のみ有効になります。  
チェックキャラクタを「照合しない」に設定している場合は、最終桁までデータキャラクタとして扱われるため、この項の設定にかかわらず最終桁も送信されます。

### 4. 読取り桁数範囲の指定



Ind25 桁数範囲の指定

読取り桁数を 1～23 桁の範囲で指定することができます。

※この項目の設定では、「終了」バーコードを読み取りする必要はありません。

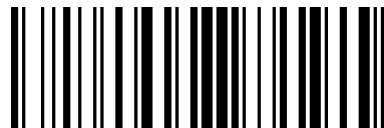
「開始」、「桁数範囲の指定」バーコードに続いて、最小桁数の hex コード (2桁) および最大桁数の hex コード (2桁) を、巻末の「16進設定バーコード」で読み取りすれば設定完了になります。

例) 読取り桁数範囲を 10 桁 (0Ahex) から 14 桁 (0Ehex) に設定する場合:

「開始」→「Ind25 桁数範囲の指定」→「0」→「A」→「0」→「E」



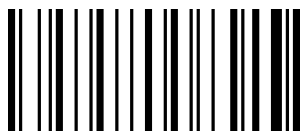
開始



終了

## MATRIX 2 of 5

### 1. 読み取り許可



読み取り許可



\* 読み取り禁止

### 2. チェックキャラクタ照合



照合する



\* 照合しない

### 3. チェックキャラクタ送信



\* 送信する



送信しない

※「送信しない」は、「2. チェックキャラクタ照合」で「照合する」に設定した場合のみ有効になります。  
 チェックキャラクタを「照合しない」に設定している場合は、最終桁までデータキャラクタとして扱われるため、この項の設定にかかわらず最終桁も送信されます。

### 4. 読取り桁数範囲の指定



M25 桁数範囲の指定

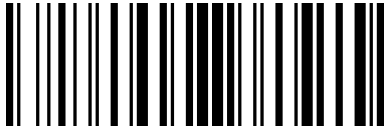
読取り桁数を 1～23 桁の範囲で指定することができます。

※この項目の設定では、「終了」バーコードを読み取りする必要はありません。

「開始」、「桁数範囲の指定」バーコードに続いて、最小桁数の hex コード (2桁) および最大桁数の hex コード (2桁) を、巻末の「16進設定バーコード」で読み取りすれば設定完了になります。

例) 読取り桁数範囲を 10 桁 (0Ahex) から 14 桁 (0Ehex) に設定する場合:

「開始」→「M25 桁数範囲の指定」→「0」→「A」→「0」→「E」



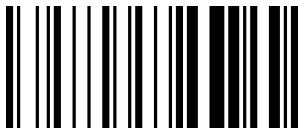
開始



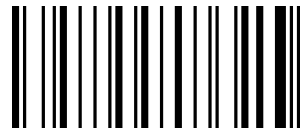
終了

## CODE 128 (UCC/EAN-128 を含む)

### 1. 読み取り許可



\* 読み取り許可



読み取り禁止

### 2. <FNC1>置き換え設定

CODE 128 (UCC/EAN-128 を含む) のバーコードデータに<FNC1>が含まれているとき、<FNC1>を任意の ASCII キャラクタに変換して出力することができます。また、何も出力しないこともできます。

※スタートコード直後の<FNC1>(UCC/EAN-128 を示すフラグ)は置き換え対象外となり、常に出力しません。

※この項目の設定では、「終了」バーコードを読み取りする必要はありません。

「開始」、「<FNC1>置き換え設定」バーコードに続いて、設定したい文字の hex コード(2 桁)を巻末の「16進設定バーコード」で読み取りすれば設定完了となります。

※FFTA10ARS で設定可能な文字は、ASCII キャラクタ(00hex~7Fhex)です。

※FFTA10AKB/FFTA10AUSB では、ASCII キャラクタ(00hex~7Fhex)に加えて、特殊キーを81hex~B0hex で設定可能です。ただし、キーボード入力として不自然な設定にすると、データを正しく送信できない場合があります。

※各文字の hex コードは、巻末の「ASCII キャラクタ配列表」および「特殊キー配列表」をご参照ください。

※「FFhex」に設定すると、「何も出力しない」に設定されます。

例)

1) <FNC1>を<GS>に変換する場合: 「開始」→「<FNC1>置き換え設定」→「1」→「D」

2) <FNC1>をカンマ(,)に変換する場合: 「開始」→「<FNC1>置き換え設定」→「2」→「C」

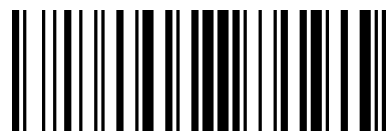
初期設定値は「FF」(何も出力しない)です。



<FNC1>置き換え設定



開始



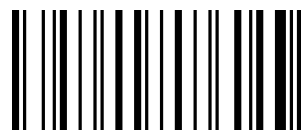
終了

## CODABAR / NW7

### 1. 読み取り許可



\* 読み取り許可



読み取り禁止

### 2. スタート/ストップコード送信



送信する



\* 送信しない

### 3. スタート/ストップコード



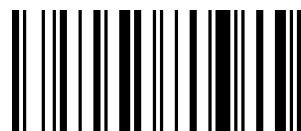
ABCD / ABCD



ABCD / TN\*E



\* ABCD / abcd



ABCD / tn\*e



開始



終了

## CODABAR / NW7(続き)

### 4. キャラクタ間ギャップのチェック



チェックする



\*チェックしない

※CODABAR/NW7 で誤読が発生するとき、「チェックする」に設定することで改善される場合があります。

### 5. チェックキャラクタの照合(モジュラス 16)



照合する



\* 照合しない

### 6. チェックキャラクタの送信

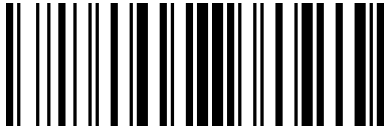


送信する



\* 送信しない

※「送信しない」は、「5. チェックキャラクタの照合」で「照合する」に設定した場合のみ有効になります。  
チェックキャラクタを「照合しない」に設定している場合は、最終桁までデータキャラクタとして扱われるため、この項の設定にかかわらず最終桁も送信されます。



開始

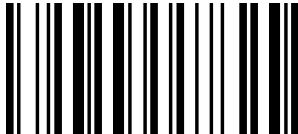


終了

---

## CODABAR / NW7(続き)

### 7. 読取り桁数範囲の指定



桁数範囲の指定

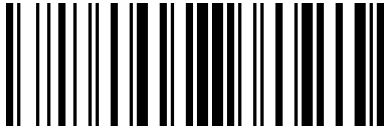
読取り桁数を 1～29 桁の範囲で指定することができます。

※この項目の設定では、「終了」バーコードを読み取りする必要はありません。

「開始」、「桁数範囲の指定」バーコードに続いて、最小桁数の hex コード(2桁)および最大桁数の hex コード(2桁)を、巻末の「16進設定バーコード」で読み取りすれば設定完了になります。

例) 読取り桁数範囲を 10 桁(0Ahex)から 13 桁(0Dhex)に設定する場合:

「開始」→「桁数範囲の指定」→「0」→「A」→「0」→「D」



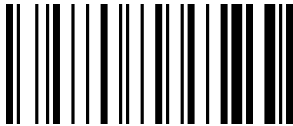
開始



終了

## EAN-13 / JAN-13

### 1. 読み取り許可



\* 読み取り許可



読み取り禁止

### 2. EAN-13 / JAN-13 チェックキャラクタ送信



\* 送信する



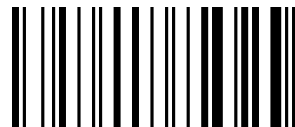
送信しない

## EAN-8 / JAN-8

### 1. 読み取り許可



\* 読み取り許可

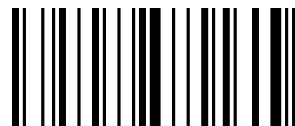


読み取り禁止

### 2. チェックキャラクタ送信



\* 送信する



送信しない





開始



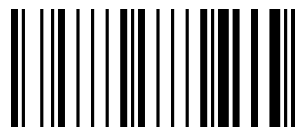
終了

## UPC-A

### 1. 読み取り許可



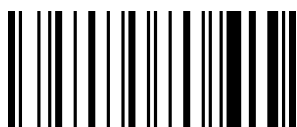
\* 読み取り許可



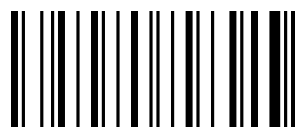
読み取り禁止

※UPC-A を「読み取り禁止」に設定しても、EAN-13 / JAN-13 を「読み取り許可」に設定している場合、UPC-A を EAN-13 とみなして読み取りを行い、13 桁に変換(左端に0を付加)して送信します。

### 2. UPC-A チェックキャラクタ送信



\* 送信する



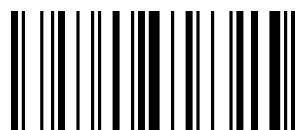
送信しない

## UPC-E

### 1. 読み取り許可



\* 読み取り許可

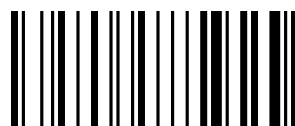


読み取り禁止

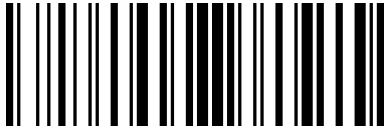
### 2. チェックキャラクタ送信



\* 送信する



送信しない



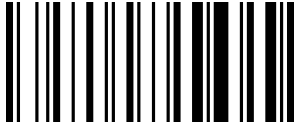
開始



終了

## UPC / EAN 変換

### 1. UPC-E を UPC-A に変換

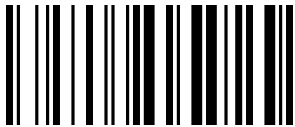


変換する

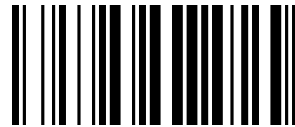


\* 変換しない

### 2. UPC-A を EAN-13 / JAN-13 に変換

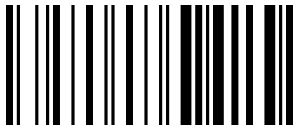


変換する



\* 変換しない

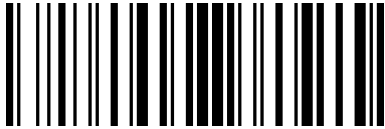
### 3. EAN-8 / JAN-8 を EAN-13 / JAN-13 に変換



変換する



\* 変換しない



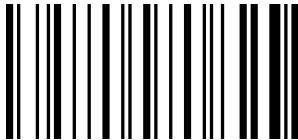
開始



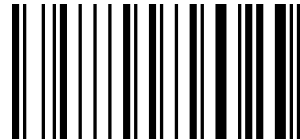
終了

## UPC / EAN アドオン

### 1. EAN / JAN / UPC アドオン 2桁/5桁 必須選択



必須にする  
(アドオンありのみ読取り)

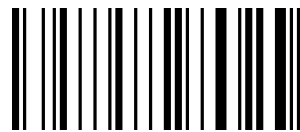


\* 必須にしない

### 2. EAN / JAN / UPC アドオン 2桁/5桁 許可



アドオン許可  
(アドオンも読取り)



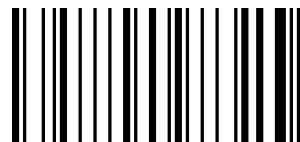
\* アドオンは無視

※この設定は、「1. EAN / JAN / UPC アドオン 2桁/5桁 必須選択」が「必須にしない」に設定されているときのみ有効です。「1. EAN / JAN / UPC アドオン 2桁/5桁 必須選択」が「必須にする」に設定されている場合は、この項目の設定は無視されます。

### 3. 「491～」で始まる JAN-13桁のアドオン必須設定



必須にする  
(アドオンありのみ読取り)



\* 必須にしない

※この設定は、「1. EAN / JAN / UPC アドオン 2桁/5桁 必須選択」が「必須にしない」に設定されているときのみ有効です。「1. EAN / JAN / UPC アドオン 2桁/5桁 必須選択」が「必須にする」に設定されている場合は、この項目の設定は無視されます。



開始



終了

---

## CODE 93

### 1. 読み取り許可



読み取り許可



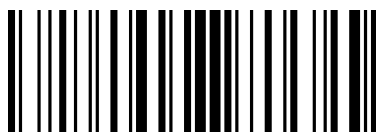
\* 読み取り禁止

---

## 保守メニュー

### 1. ファームウェアのバージョン確認

※この項の設定では、「開始」「終了」バーコードの読取りは必要ありません。  
目的のメニューバーコードを直接読取りしてください。



バージョン確認

このメニューバーコードを読取ると、ファームウェアのバージョンがデータとしてスキャナから送信されます。

※本取扱説明書(1.9版)は、ファームウェアバージョン「anly 3.22 -may. 25. 2004-」以降に対応していません。

(編集の都合上、このページは空白です)

(編集の都合上、このページは空白です)

## 主な仕様

型番	FFTA10AUSB	FFTA10AKB	FFTA10ARS
インターフェース	USBキーボード	PS/2キーボード	RS-232シリアル
コネクタ形状	USB(Aタイプ)オス	miniDIN 6pin オス/メス	D-Sub 9pin メス
読取幅	75mm(接触時)		
読取深度	0~40mm		
光源	赤色LED (660nm)		
読取コード	JAN/EAN/UPC, CODE39, NW-7 (CODABAR), CODE128, ITF (Interleaved 2of5), Industrial 2 of 5, MATRIX 2 of 5 など		
分解能	0.15mm		
使用温度	0~50℃		
使用湿度	5~95%RH (非結露)		
電源電圧	DC 5.0V ± 5%		
消費電力	84mA		
質量(ケーブル含まず)	120g		
大きさ	85(W)×170(L)×52(H)mm		
ケーブル長	ストレートケーブル:2.3m	ストレートケーブル:1.8m	ストレートケーブル:2.3m
対応 OS	Windows98 以降、その他 USB(HID)をサポートする OS	DOS、Windows3.1 以降	RS-232 シリアルポートを装備している PC/制御機器

### FFTA10ARS RS232 ケーブル ピン配列表

電源ジャック	D-Sub 9pin (メス) ピン番号	スキャナ		信号方向 スキャナ⇄ホスト	ホスト側 (参考)	
		内容	信号名		信号名	内容
アウター (※1)	1	接地	FG	—	FG	接地
	2	送信データ	SD	→	RD	受信データ
	3	受信データ	RD	←	SD	送信データ
	4	未接続	未接続	—	未接続	未接続
アウター (※1)	5	信号用接地	SG	—	SG	信号用接地
	6	未接続	未接続	—	未接続	未接続
	7	送信可能	CS	←	RS	送信可能
	8	送信要求	RS	→	CS	送信要求
センター (※2)	9	+DC5V 94mA 以上	VCC	—	VCC	(+DC5V 94mA 以上)

※1.

1番ピン、5番ピンおよび電源ジャックのアウターは、内部的に共通です。

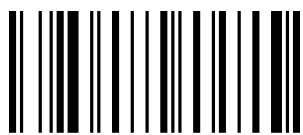
※2.

9番ピンと電源ジャックのセンターとは内部的に共通で、排他ではありません。

9番ピンから電源供給する場合は、外部電源ジャックからは電源供給をしないでください。



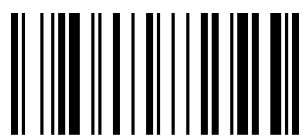
# 16進設定バーコード



0



1



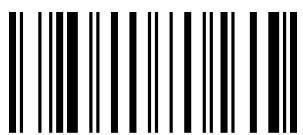
2



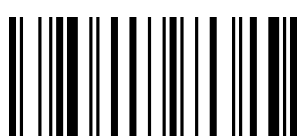
3



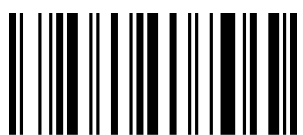
4



5



6



7



8



9



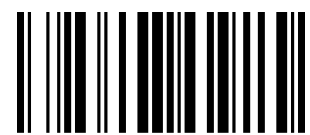
A



B



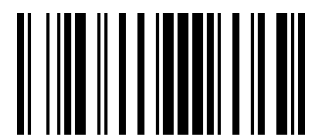
C



D



E



F



決定

ASCII キャラクタ配列表 (00hex~7Fhex)

上位桁 下位桁	0	1	2	3	4	5	6	7
0	NUL	DLE	空白	0	@	P	`	p
1	SOH	DC1	!	1	A	Q	a	q
2	STX	DC2	“	2	B	R	b	r
3	ETX	DC3	#	3	C	S	c	s
4	EOT	DC4	\$	4	D	T	d	t
5	ENQ	NAK	%	5	E	U	e	u
6	ACK	SYN	&	6	F	V	f	v
7	BEL	ETB	‘	7	G	W	g	w
8	BS	CAN	(	8	H	X	h	x
9	HT	EM	)	9	I	Y	i	y
A	LF	SUB	*	:	J	Z	j	z
B	VT	ESC	+	;	K	[	k	{
C	FF	FS	,	<	L	¥	l	
D	CR	GS	-	=	M	]	m	}
E	SO	RS	.	>	N	^	n	~
F	SI	US	/	?	O	_	o	DEL

特殊キー配列表 (81hex~B0hex) (キーボードウェッジのみ)

上位桁 下位桁	8	9	A	B
0		F1	-(テンキー)	左 Shift 押しながら Tab
1	Home	F2	*(テンキー)	
2	End	F3	/(テンキー)	
3	Page Up	F4	Caps Lock	
4	Page Down	F5	Num Lock	
5	Insert	F6	左 Alt	
6	Delete	F7	左 Ctrl	
7	+(テンキー)	F8	左 Shift	
8	Back Space	F9	右 Alt	
9	Tab	F10	右 Ctrl	
A	Enter	F11	右 Shift	
B	←	Esc	左 Alt Make(※2)	
C	→	F12	左 Alt Break(※2)	
D	Enter(テンキー)	左 Shift 押しながら 1キャラクタ(※1)	左 Ctrl Make(※2)	
E	↑	左 Ctrl 押しながら 1キャラクタ(※1)	左 Ctrl Break(※2)	
F	↓	左 Alt 押しながら 1キャラクタ(※1)	Print Screen	

※1

例) サフィックスを「左 Alt を押しながら“f”(66hex)を押す」に設定する場合

設定:

「開始」→「サフィックスの設定」→「9」→「F」→「6」→「6」→「決定」

サフィックスの設定内容:

“左 Alt”押す→“f”押して離す→“左 Alt”離す

※2

例) サフィックスを「左 Ctrl と左 Alt を押しながら“h”(68hex)を押す」に設定する場合

設定:

「開始」→「サフィックスの設定」→「A」→「D」→「A」→「B」→「6」→「8」→「A」→「C」→「A」→「E」→「決定」

サフィックスの設定内容:

“左 Ctrl”押す→“左 Alt”押す→“h”押して離す→“左 Alt”離す→“左 Ctrl”離す

## 日栄インテック株式会社

バーコード営業部

〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町 2-1

日栄インテック神田ビル 3F

電話:03-5256-7733      FAX:03-5256-5503

URL: <http://www.barcode.ne.jp>

e-mail: [info@barcode.ne.jp](mailto:info@barcode.ne.jp)